

□ 要請番号 (JL01824A04)

募集終了

4 異文化理解を
めざす8 異文化理解を
めざす9 異文化理解を
めざす

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・ 2024/3 ・ 2025/1 ・ 2025/2



配属先YouTube

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ジャーノックロン中高校

3) 任地 (ピッサヌローク県ムアンピッサヌローク郡) JICA事務所の所在地 (バンコク都)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はバンコクから北へ約380km、市街地に位置する公立の中高一貫校である。1961年設立、生徒数約2,700名、教師数約130名、外国籍の教師も在籍する。高校生からは理数科系や外国語等の専攻コースを選択する。外国語は日本語、英語、中国語、韓国語、仏語があるが仏語はまもなくコース閉講予定。日本語専攻コースは2000年頃に開講され、日本語授業、日本語能力試験(JLPT)対策を実施し、日本語キャンプや教育省主催の日本語コンテストに参加している。校内では七夕祭りを実施するなど日本語専攻以外の生徒が日本文化に触れる機会を提供しているが日本語・日本文化のクラブはない。隊員派遣実績なし、国際交流基金の日本語パートナーズ派遣実績1名あり(2023年度)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

教師不足により中学生向け日本語授業は実現しておらず、日本語専攻の高校生向けに各学年週6コマの授業を実施している。生徒のレベルはJLPTのN5が最高であるが、将来はファッションデザインや料理、漫画・ゲームの翻訳などの日本や日本語に関わる仕事を希望する生徒が多く、近年の卒業生約7割が大学の日本語学科へ進学している。将来の仕事に活かすためにも特に話す・聞く、作文が課題であり、実践的な授業の工夫や日本語ネイティブとしてきめ細やかな指導が期待され本要請に至った。配属先は、日本語専攻生徒増加を目指しているため、全校生徒が日本語・日本文化に興味関心を高められる取り組みも期待される。タイ人教師との共働を通じお互いに学び高め合いながら日本語教育の質の向上を目指す。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- チームティーチングなど、タイ人教師と共働して日本語の授業を実施する。(1コマ55分、週18コマ程度)
- 七夕祭りやキャンプ等の行事において日本語学習の機会や日本文化紹介を企画、実施する。
- 日本語コンテストや日本語能力試験等に向けて指導、助言する。
- 教材作成など日本語教育の充実に向けて、学習環境を整備する。
- 可能であれば、他校に派遣されている隊員や日本語教育関係者と緩やかに連携し、情報共有等の協力活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

日本語学習用の教室、ホワイトボード、TVモニター、日本語教材(『あきこと友だち』、『こはるといっしょに』)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
日本語教師1名(女性、経験約9年、日本語能力試験N4、訪日研修1か月)
主な対象者:
高校1～3年生(日本語専攻) 約35名

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はタイ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (日本語教育に関する資格) [学歴]: (大卒) 備考: 大卒以上の同僚と協働するため
[性別]: (女性) 備考: 同僚が女性であるため [経験]: () 備考:

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (15～39℃位) [電気]: (安定)
[通信]: (インターネット可 電話可) [水源]: (安定)

【特記事項】

生徒や同僚教師とのコミュニケーション等、活動上も生活上もタイ語の習得は必須。2学期制(5月～9月、11月～3月)。
タイの住居は、キッチンや洗濯機がない住居が一般的。配属先のFacebookは[こちら](#)

【類似職種】